

組織名	草津未来研究所
-----	---------

1 組織概要

所在地	〒525-8588 滋賀県草津市草津三丁目13番30号
TEL	077-561-6009
FAX	077-561-2489
URL	http://www.city.kusatsu.shiga.jp/
e-mail	kusatsumirai@city.kusatsu.lg.jp
設立	2010年4月1日
設置都市等	滋賀県草津市
代表者	松原豊彦(所長/学校法人立命館 副総長)

2 組織動向

(1) 沿革		
設置経緯	○地域の課題を解決するための実践的かつ戦略的な政策への取り組み ○地方分権の推進による地方政府の構築 ○立命館大学の知の集積との連携 ○第5次総合計画実現への支援のため、2009年4月からの「草津未来研究所準備室」を経て、2010年4月より設立された。	
見直しの動向		
役割(2016年時点)	地方分権社会や時代の変化に対応した市政を目指し、市民ニーズの充足や政策課題の解決に向けた政策を実施するために、中長期的・広域的かつ横断的な視点で政策研究を行い、草津市における政策形成に寄与する。	
(2) 組織体制		
設置形態(択一)	<input checked="" type="radio"/> 1 自治体の内部組織 <input type="radio"/> 2 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) <input type="radio"/> 3 公益法人(財団法人・社団法人) <input type="radio"/> 4 大学の附置機関 <input type="radio"/> 5 広域連合 <input type="radio"/> 6 その他(具体的に:)	
常勤職員数	7人	
うち常勤研究員数	2人	
非常勤研究員数	1人	
専門性確保に関する特徴(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 専門的な知識を有した研究員の採用 <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部有識者の活用(1を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 3 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 4 設置市の企画部署と連携した研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 5 設置市の関係部署と連携した研究の実施 <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 7 特に行ってない	
庶務体制	研究所内で行っている	
市民参加、外部連携		
(3) 会計		
会計規模※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない		
2016年度予算	6,167 千円	
2015年度決算	5,568 千円	
2014年度決算	2,395 千円	
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	
	2位	
	3位	
	4位	
自治体の内部組織の場合の事業活動収入の主な内訳(多い順に選択)	順位	収入種別
	1位	1. 設置部局の予算
	2位	
	3位	
	4位	

3 活動動向

(1) 活動実績		
	調査研究名 (国の法令により義務づけられている調査で、自治体の政策の形成や問題の解決のために活用しないものは除く)	調査研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)やURLがある場合は末尾に記入)
2016年度に実施した調査研究 (1件につき1行で記入してください。)	草津市における経済構造分析と経済波及効果分析に関する調査研究	各産業支援団体で構成した研究会による総務省統計等の活用や、独自に実施した「平成27年草津市サービス業市街売上げ率調査」についての議論をもとに、草津市における構造分析とそれを踏まえた経済波及効果分析のあり方を検討 http://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/kenkyu/chousakenkyu/index.html
	草津市におけるオープンデータの利活用に関する調査研究(委託研究)	オープンデータ化を進めるに際し、オープンデータ化された行政情報だけでなく、産学公民の多様な情報を組み合わせることによって、草津市においてどのような新たな提案が可能か検討 http://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/kenkyu/chousakenkyu/index.html
過去3年間の研究実績 (成果物ベース)	<2015年度> ○草津市の産業構造に関する調査研究 ○草津市の「住みやすさ」に関する調査研究 ○(委託研究)草津市のオープンデータのあり方に関する調査研究	
	<2014年度> ○草津市の産業構造と雇用の変化に関する調査研究 ○草津市の医療福祉のあり方に関する調査研究(2年目) ○大学と地域の連携に関する調査研究	
	<2013年度> ○消費・流通の視点から見た6次産業化のあり方に関する調査研究 ○草津市の医療福祉のあり方に関する調査研究 ○広域行政に関する調査研究	
定期刊行物	○各調査研究報告書(年1回) ○ニュースレター(年4回) ○未来通信(随時)	
(2) 活動のマネジメント状況		
ア テーマ決定 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市からの要請 <input checked="" type="checkbox"/> 2 外部有識者等からの助言・示唆 <input checked="" type="checkbox"/> 3 貴団体・組織で、設置市の総合計画等に明記された重要課題から選択 <input type="checkbox"/> 4 貴団体・組織で自ら発案(3を除く) <input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に:)	
イ 情報発信 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 2 設置市の関係部署に、報告や提言を行う <input checked="" type="checkbox"/> 3 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する <input checked="" type="checkbox"/> 4 報告会を実施する <input checked="" type="checkbox"/> 5 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニュースレター等で周知する <input type="checkbox"/> 6 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 7 特に行っていない	
ウ 活動の評価とその反映 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 設置市の行政評価制度により評価を受けている <input type="checkbox"/> 2 運営委員会等、貴団体・組織の運営に関わる機関から評価を受けている <input checked="" type="checkbox"/> 3 外部有識者から評価を受けている(2を除く) <input checked="" type="checkbox"/> 4 報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている <input type="checkbox"/> 5 その他(具体的に:) <input type="checkbox"/> 6 特にそういう機会はない	

4 特記事項

研究員の業務分担	調査研究の進め方は有識者を含めた研究所運営会議で協議するが、各テーマごとに研究員を配置し、その者が主担当となって調査研究を進めていく。
研究員の専門性育成の手立て	○運営委員会における研究指導 ○シンポジウム等への参加 ○研究アドバイザー等による研究助言 ○研究会の設置
研究員のキャリアパス等	i) 草津市コミュニティ事業団→草津未来研究所 ii) 社会福祉部社会福祉課→草津未来研究所
その他	